



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月6日

上場会社名 株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション 上場取引所 東
コード番号 6674 URL <https://www.gs-yuasa.com/jp>
代表者 (役職名) 取締役社長 CEO (氏名) 村尾 修
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 松島 弘明 (TEL) 075-312-1211
四半期報告書提出予定日 2024年2月6日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	411,591	9.8	29,379	54.7	28,958	80.3	17,741	126.0
2023年3月期第3四半期	374,880	19.7	18,994	36.6	16,063	△0.1	7,849	134.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 30,461百万円(93.4%) 2023年3月期第3四半期 15,754百万円(110.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	215.77	—
2023年3月期第3四半期	97.57	—

(参考) のれん等償却前営業利益 2024年3月期第3四半期 29,814百万円(50.7%) 2023年3月期第3四半期 19,786百万円(31.4%)

当社は、経営上の重要な指標として、のれん等償却前営業利益を用いております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	609,981	333,056	47.7
2023年3月期	540,906	270,890	42.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 291,004百万円 2023年3月期 230,677百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.00	—	35.00	50.00
2024年3月期	—	15.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	45.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日(2024年2月6日)公表いたしました「通期業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	560,000	8.2	42,000	33.3	38,000	56.9	21,000	50.8	242.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日(2024年2月6日)公表いたしました「通期業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) 天津杰士電池有限公司
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	100,446,442株	2023年3月期	80,599,442株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	142,792株	2023年3月期	146,539株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	82,225,087株	2023年3月期3Q	80,446,423株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	8
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	11
(重要な後発事象)	11
3. 補足情報	12
(四半期損益の推移)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 業績全般の動向

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、サプライチェーンの回復が進み、自動車生産台数が回復に向かう等、緩やかに持ち直しの動きが見られました。一方で、中東での紛争勃発による新たな地政学リスクや、景気下振れリスク、金融市場の変動等、先行き不透明な状況が続いています。

このような経済状況の中、当社グループでは、主としてハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売数量が増加していることや、販売価格是正の取組等を進めていることにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は、4,115億91百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて367億11百万円増加(9.8%)しました。これに伴い、営業利益は293億79百万円(のれん等償却前営業利益は298億14百万円)と前第3四半期連結累計期間に比べ103億84百万円増加(54.7%)しました。経常利益は持分法による投資損益や為替差損益の改善等により、289億58百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて128億94百万円増加(80.3%)しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は177億41百万円と、前第3四半期連結累計期間に比べて98億92百万円増加(126.0%)しました。

② 報告セグメント別の動向

第1四半期連結会計期間より、一部の連結子会社のセグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」(セグメント情報等)に記載のとおりです。

(自動車電池)

国内における売上高は、新車販売台数の回復に伴い、新車用電池の販売数量が前年同期を上回ったことに加え、販売価格是正の取組等を進め、688億71百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ57億30百万円増加(9.1%)しました。セグメント損益(のれん等償却前)は、52億6百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて9億70百万円増加(22.9%)しました。

海外における売上高は、販売価格是正の取組等により、1,906億69百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて37億29百万円増加(2.0%)しました。セグメント損益は、133億57百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて31億39百万円増加(30.7%)しました。

これにより、国内・海外合算における売上高は、2,595億41百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて94億60百万円増加(3.8%)しました。セグメント損益(のれん等償却前)は、185億63百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて41億9百万円増加(28.4%)しました。

(産業電池電源)

売上高は、蓄電(ESS(注))用リチウムイオン電池の販売増加や販売価格是正の取組等により737億49百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて78億36百万円増加(11.9%)しました。セグメント損益は、64億47百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて31億65百万円増加(96.5%)しました。

(注) 電力貯蔵システム (Energy Storage System)

(車載用リチウムイオン電池)

売上高は、ハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売数量が増加したこと等により、629億43百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて177億4百万円増加(39.1%)しました。セグメント損益は、24億39百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて14億62百万円増加(149.5%)しました。

(その他)

売上高は、航空機用電池の販売が好調に推移し、153億56百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて17億10百万円増加(12.5%)しました。全社費用等調整後のセグメント損益は23億63百万円と前第3四半期連結累計期間に比べて12億90百万円増加(120.3%)しました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、公募及び第三者割当による新株式発行並びに当社株式の売出しにより現金及び預金が増加したこと、また棚卸資産の増加や保有株式の時価評価による増加等により、6,099億81百万円と前連結会計年度末に比べて690億74百万円増加しました。

負債は、社債の償還があったものの、仕入債務及び電子記録債務の増加等により、2,769億25百万円と前連結会計年度末に比べて69億8百万円増加しました。

純資産は、配当金の支払がありました。親会社株主に帰属する四半期純利益による増加や公募増資等による払込み等により、3,330億56百万円と前連結会計年度末に比べて621億65百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、主として各セグメントにおいて原料・エネルギー価格等コスト上昇に対して着実な販売価格是正の活動を進め、また経費の削減に努めたこと、さらに社会インフラ分野における蓄電用リチウムイオン電池の需要の高まり等もあり、2023年11月7日に公表いたしました業績予想を修正いたします。

なお、配当予想につきましては、今回の業績予想の修正を踏まえ、期末配当金につきましては、前回予想の35円から10円増額して1株当たり45円に予想を修正いたします。

詳細につきましては、本日(2024年2月6日)公表いたしました「通期業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,272	64,158
受取手形、売掛金及び契約資産	97,591	102,980
電子記録債権	6,855	7,805
商品及び製品	60,127	61,952
仕掛品	21,848	26,368
原材料及び貯蔵品	28,094	28,953
その他	15,722	24,436
貸倒引当金	△387	△385
流動資産合計	266,125	316,268
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	60,135	57,079
機械装置及び運搬具（純額）	51,036	46,547
土地	28,390	35,715
リース資産（純額）	222	252
使用権資産（純額）	7,946	6,798
建設仮勘定	10,985	20,764
その他（純額）	6,326	6,543
有形固定資産合計	165,043	173,701
無形固定資産		
のれん	1,233	1,015
リース資産	673	568
その他	3,333	3,132
無形固定資産合計	5,240	4,716
投資その他の資産		
投資有価証券	63,254	72,679
退職給付に係る資産	31,894	32,549
繰延税金資産	2,077	2,263
リース債権	2,694	2,904
その他	4,894	5,224
貸倒引当金	△344	△343
投資その他の資産合計	104,470	115,277
固定資産合計	274,754	293,694
繰延資産	26	17
資産合計	540,906	609,981

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51,691	53,615
電子記録債務	25,327	31,711
短期借入金	42,318	36,131
コマーシャル・ペーパー	—	20,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払金	14,225	10,993
未払法人税等	4,081	3,194
設備関係支払手形	192	206
設備関係電子記録債務	3,539	3,511
役員賞与引当金	120	—
その他	23,816	31,612
流動負債合計	175,312	200,976
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	41,357	30,065
リース債務	8,510	9,062
繰延税金負債	20,474	22,561
再評価に係る繰延税金負債	777	777
役員退職慰労引当金	78	50
退職給付に係る負債	5,372	5,717
その他	8,133	7,713
固定負債合計	94,704	75,948
負債合計	270,016	276,925
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,021	52,841
資本剰余金	53,201	73,949
利益剰余金	103,503	117,219
自己株式	△321	△312
株主資本合計	189,404	243,697
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,173	15,992
繰延ヘッジ損益	△450	△436
土地再評価差額金	1,794	1,794
為替換算調整勘定	18,727	23,533
退職給付に係る調整累計額	7,026	6,423
その他の包括利益累計額合計	41,272	47,306
非支配株主持分	40,213	42,051
純資産合計	270,890	333,056
負債純資産合計	540,906	609,981

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 自 2022年4月1日 至 2022年12月31日	当第3四半期連結累計期間 自 2023年4月1日 至 2023年12月31日
売上高	374,880	411,591
売上原価	293,416	318,508
売上総利益	81,463	93,083
販売費及び一般管理費	62,469	63,704
営業利益	18,994	29,379
営業外収益		
受取利息及び配当金	927	1,290
持分法による投資利益	—	3,018
正味貨幣持高による利得	430	223
その他	520	634
営業外収益合計	1,879	5,166
営業外費用		
支払利息	2,152	2,807
持分法による投資損失	150	—
為替差損	1,469	343
債権売却損	399	1,005
その他	639	1,431
営業外費用合計	4,810	5,587
経常利益	16,063	28,958
特別利益		
固定資産売却益	112	10
投資有価証券売却益	7	1,572
国庫補助金受贈益	—	163
保険解約返戻金	—	240
段階取得に係る差益	1,010	—
子会社清算益	473	—
関係会社出資金譲渡益	—	1,487
持分変動利益	—	207
特別利益合計	1,604	3,682
特別損失		
固定資産除却損	344	547
固定資産売却損	11	10
固定資産圧縮損	—	163
関係会社事業整理損	119	2,895
退職給付費用	—	121
その他	4	12
特別損失合計	479	3,750
税金等調整前四半期純利益	17,187	28,889
法人税等	5,690	6,063
四半期純利益	11,497	22,825
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,648	5,084
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,849	17,741

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 自 2022年4月1日 至 2022年12月31日	当第3四半期連結累計期間 自 2023年4月1日 至 2023年12月31日
四半期純利益	11,497	22,825
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,959	1,916
繰延ヘッジ損益	206	22
為替換算調整勘定	4,651	4,261
退職給付に係る調整額	△385	△603
持分法適用会社に対する持分相当額	1,743	2,039
その他の包括利益合計	4,256	7,635
四半期包括利益	15,754	30,461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,011	23,775
非支配株主に係る四半期包括利益	3,742	6,685

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年12月5日付で、有償一般募集及び本田技研工業株式会社を割当先とする有償第三者割当による新株式発行を実施し、また、2023年12月28日付で、オーバーアロットメントによる売出しに関連した有償第三者割当による新株式発行を行っております。この新株式発行により、資本金が19,820百万円、資本剰余金が19,820百万円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が52,841百万円、資本剰余金が73,949百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車電池			産業電池 電源	車載用 リチウム イオン電池	計		
	国内	海外	小計					
売上高								
外部顧客への売上高	63,140	186,940	250,080	65,913	45,239	361,234	13,645	374,880
セグメント間の内部 売上高又は振替高	979	3,512	4,492	12,937	2,281	19,711	△19,711	—
計	64,120	190,453	254,573	78,851	47,521	380,946	△6,065	374,880
セグメント利益	4,235	10,218	14,453	3,281	977	18,713	1,072	19,786

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びセグメント利益の調整額であります。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、特殊電池事業等を含んでおります。セグメント利益の調整額は△831百万円であり、セグメント間取引消去△55百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△776百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 上表のセグメント利益の合計額と連結損益計算書上の営業利益18,994百万円との差は、のれん等の償却費791百万円であります。のれん等には、企業結合日において識別可能資産として受け入れた無形固定資産を含んでおります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「自動車電池海外」セグメントにおいて、Inci GS Yuasa Aku Sanayi ve Ticaret Anonim Sirketiの株式を取得し連結子会社としたことにより、第1四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。

これに伴うのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において4,121百万円であります。なお、のれんの金額は、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車電池			産業電池 電源	車載用 リチウム イオン電池	計		
	国内	海外	小計					
売上高								
外部顧客への売上高	68,871	190,669	259,541	73,749	62,943	396,235	15,356	411,591
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,013	3,238	4,251	10,551	8,917	23,720	△23,720	—
計	69,885	193,907	263,793	84,301	71,861	419,955	△8,363	411,591
セグメント利益	5,206	13,357	18,563	6,447	2,439	27,450	2,363	29,814

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びセグメント利益の調整額であります。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、特殊電池事業等を含んでおります。セグメント利益の調整額は△1,083百万円であり、セグメント間取引消去△192百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△891百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. 上表のセグメント利益の合計額と連結損益計算書上の営業利益29,379百万円との差は、のれん等の償却費435百万円であります。のれん等には、企業結合日において識別可能資産として受け入れた無形固定資産を含んでおります。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、製品を軸としたセグメント業績をより適切に把握するために、組織の管理区分の見直しを行った結果、従来「産業電池電源」に含まれていた一部の連結子会社について、「その他」にセグメントを変更しております。

前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントにより記載しております。

(追加情報)

(超インフレ経済下における会計処理)

前連結会計年度において、トルコにおける3年間の累積インフレ率が100%を超えたため、当社グループはトルコ・リラを機能通貨とするトルコの子会社について、超インフレ経済下で営業活動を行っていると判断いたしました。このため、前第1四半期連結会計期間より、当社グループは、トルコの子会社の財務諸表について、IAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」に定められる要求に従い、会計上の調整を加えております。IAS第29号は、超インフレ経済下にある子会社の財務諸表について、報告期間の末日現在の測定単位に修正したうえで、連結財務諸表に含めることを要求しております。当社グループは、トルコにおける子会社の財務諸表の修正のため、Turkish Statistical Institute (TURKSTAT) が公表するトルコの消費者物価指数 (CPI) から算出する変換係数を用いております。トルコにおける子会社は、取得原価で表示されている有形固定資産等の非貨幣性項目について、取得日ないし再評価日を基準に変換係数を用いて修正しております。現在原価で表示されている貨幣性項目及び非貨幣性項目については、報告期間の末日現在の測定単位で表示されていると考えられるため、修正しておりません。正味貨幣持高に係るインフレの影響は、連結損益計算書の営業外損益に表示しております。トルコの子会社の財務諸表は、四半期末日の直物為替相場により円貨に換算し、当社グループの連結財務諸表に反映しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 四半期損益の推移

2024年3月期(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2023/4-6)	②第2四半期 (2023/7-9)	③第3四半期 (2023/10-12)	④第4四半期 (2024/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	120,540	136,264	154,786	—	256,805	411,591	—
営業利益	4,836	7,838	16,704	—	12,674	29,379	—
経常利益	4,935	7,057	16,964	—	11,993	28,958	—
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,649	4,308	11,783	—	5,958	17,741	—

2023年3月期(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2022/4-6)	②第2四半期 (2022/7-9)	③第3四半期 (2022/10-12)	④第4四半期 (2023/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	111,429	123,794	139,655	142,854	235,224	374,880	517,735
営業利益	3,570	4,653	10,770	12,505	8,224	18,994	31,500
経常利益	2,246	3,769	10,048	8,150	6,015	16,063	24,213
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	612	1,100	6,135	6,076	1,713	7,849	13,925

2022年3月期(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2021/4-6)	②第2四半期 (2021/7-9)	③第3四半期 (2021/10-12)	④第4四半期 (2022/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	95,458	99,666	118,022	118,986	195,124	313,146	432,133
営業利益	3,210	2,016	8,675	8,761	5,226	13,902	22,664
経常利益	4,268	2,301	9,507	8,607	6,569	16,076	24,684
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	2,681	△473	1,141	5,119	2,207	3,348	8,468

2021年3月期(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2020/4-6)	②第2四半期 (2020/7-9)	③第3四半期 (2020/10-12)	④第4四半期 (2021/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	76,376	95,949	105,691	108,494	172,325	278,016	386,511
営業利益	1,002	4,292	9,089	10,426	5,294	14,383	24,810
経常利益	1,699	4,800	10,123	10,655	6,500	16,623	27,279
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	△27	149	5,546	5,787	121	5,667	11,455

2020年3月期(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2019/4-6)	②第2四半期 (2019/7-9)	③第3四半期 (2019/10-12)	④第4四半期 (2020/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	90,082	100,331	102,662	102,476	190,414	293,077	395,553
営業利益	2,040	5,508	6,872	7,254	7,549	14,421	21,676
経常利益	2,873	5,551	7,499	7,185	8,424	15,924	23,109
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,473	3,300	4,430	4,469	4,774	9,204	13,674